

令和 6 年 12 月 18 日

令和 6 年第 4 回都議会定例会を終えて（談話）

東京都議会自由民主党幹事長 小松大祐

本日、令和 6 年第 4 回都議会定例会が終了しました。

本定例会では、自然災害への備えや少子化対策など、都民を取り巻く諸課題について質疑を行いました。

1 地方への貢献

オールジャパンでイノベーション創出に取り組むとともに、DXの推進にあたっては、地方との共存共栄はもとより、都内区市町村との連携も視野に、首都東京の役割をしっかりと果たしていくことを求めました。

2 災害対策

TOKYO 強靱化プロジェクトの内容については、区市町村への浸透を図り、木密地域のリスクや防災都市づくりの必要性を多くの都民に周知していくことを求めました。

3 少子化対策

知事は、保育園の第一子無償化を来年 9 月に開始することを目指す旨と答弁されました。今後、区市町村と協議し、第一子無償化事業の円滑な実施、保育園の安定的な事業運営や、都が実施している少子化対策の全体像を子育て中の都民に発信することを求めました。

4 環境対策

脱炭素化に向けたペロブスカイト実用化への支援、空調設備等からの漏洩が増加しているフロンガス対策の強化、グリーン水素の更なる普及や、自然環境保全活動に取り組む人材の育成など、環境対策の更なる推進を求めました。

5 都民の安心安全対策

闇バイト強盗が相次いで発生している現在の状況を踏まえ、町会、自治会による防犯カメラ設置への補助の実施や都内地下鉄に加え、JRや私鉄におけるホームドア整備に向けて改善策を検討し、官民一体となって取り組んでいくことを改めて求めました。

6 カスタマーハラスメント条例

条例を実効性あるものにしていくには、現場の実情を踏まえた業界団体等によるマニュアル作成が欠かせません。中小企業の対策と合わせて、団体独自の取り組みへの支援と小規模店舗にとって効果的な防止対策を支援していくこと求めました。

7 女性活躍

持続可能な社会づくりには人口の半分以上を占める女性の力は不可欠ですが、現在、女性活躍を加速する条例も検討しているとのこと。東京都が率先して我が国の女性活躍をリードしていくことを、強く求めました。

8 中小企業対策

東京の経済を支える中小企業対策については、働き方改革を踏まえた事業継続への支援や人材育成、事業承継や賃上げの後押し、長引く物価高騰を踏まえた継続的な支援も欠かせません。制度融資や金融相談など中小企業の事業承継を進めるための支援を求めました。

9 スポーツ振興

来年開催される世界陸上、デフリンピックでは、子供が観戦する機会を設けることで、スポーツ振興を支援していくことを求めました。

これからの都政の課題に対応していくためには、都民の理解の上で企画段階から国、関係自治体、関係機関と綿密に連携して進めるべきです。

我々都議会自民党は、常に都民や事業者の皆様の声をしっかり受け止め、都民の皆様の期待に寄り添った、実効性のある施策を全力で進めてまいります。